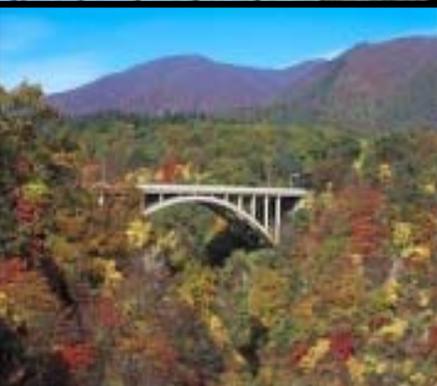


鳴子ダム水源地域ビジョン  
第3回策定委員会資料

平成17年5月31日（火）

資料 - 4 鳴子町の状況



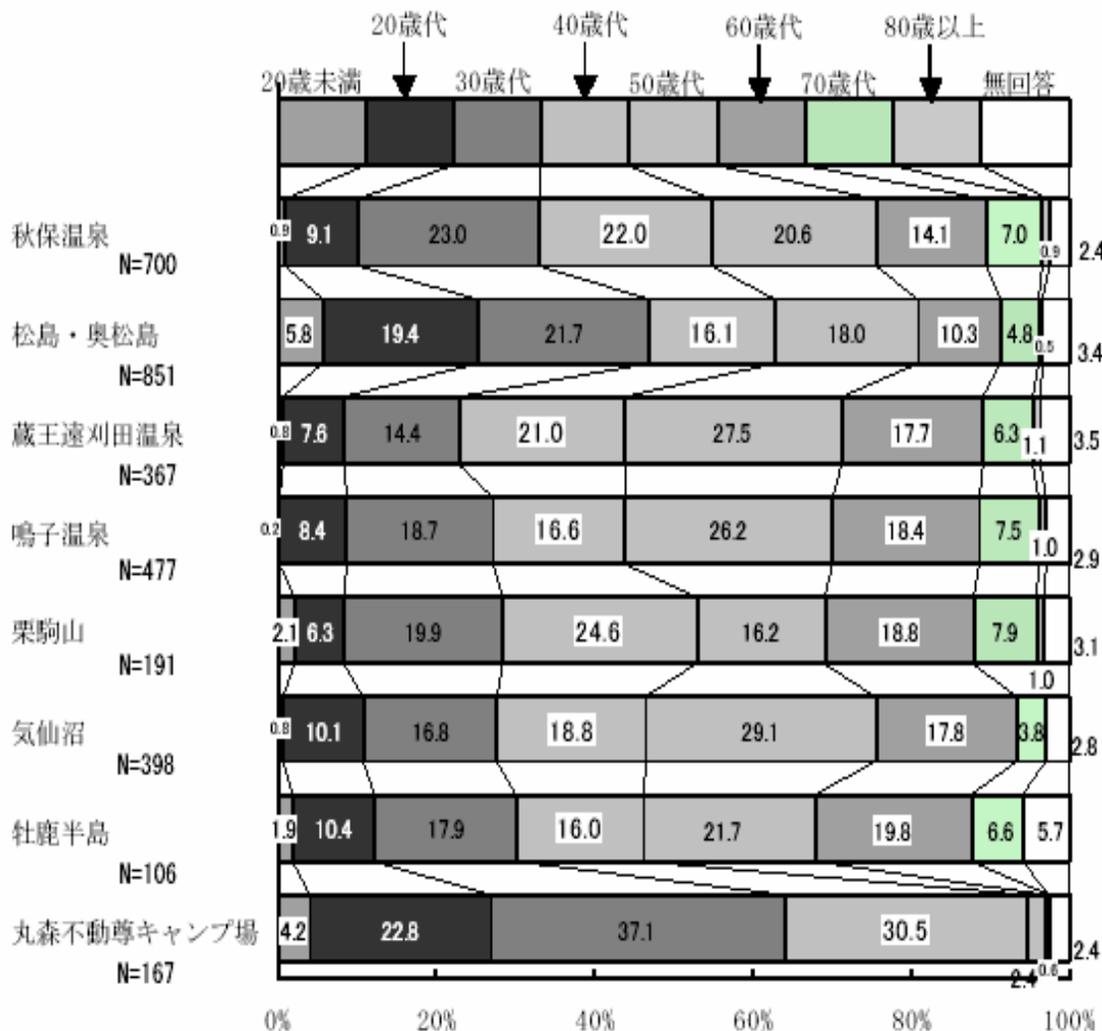
# 1. 鳴子町の観光動態

## 鳴子町への来訪者の特性

### 1) 年齢構成

「松島・奥松島」、「丸森不動尊キャンプ場」以外は、50歳未満と50歳以上が約半数ずつ。

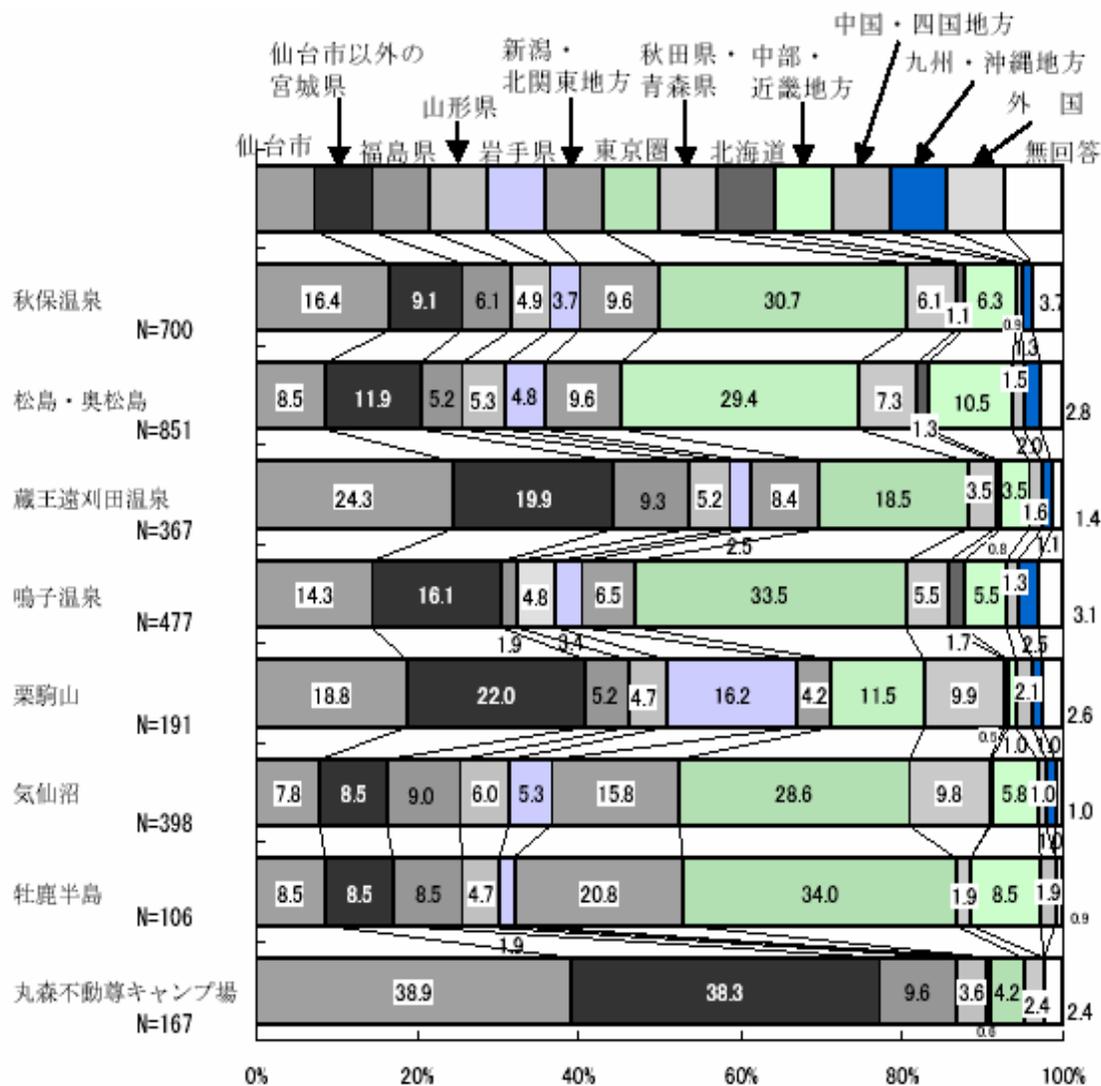
鳴子温泉は、  
 「50歳代」が最も多く26.2%、  
 「30歳代」18.7%  
 「60歳代」18.4%  
 「40歳代」16.6%の順となり、  
 鳴子温泉への来訪者は30～60歳代までほぼ均等な年齢構成となっている。



# 1. 鳴子町の観光動態

## 2) 誘客範囲の広さ

各地点での回答者の住所から誘客の範囲の広さをみると、「秋保温泉」、「松島・奥松島」、「鳴子温泉」、「気仙沼」、「牡鹿半島」では、「東京圏」が3割前後と最も多い。これを温泉別にみると、「鳴子温泉」は比率で「秋保温泉」より多い。  
 鳴子温泉は、6割以上を「東京圏」と「宮城県内」からの誘客範囲で占められる。



出典) 平成15年度宮城県観光実態調査及び経済波及効果調査  
 (宮城県産業経済部観光課)

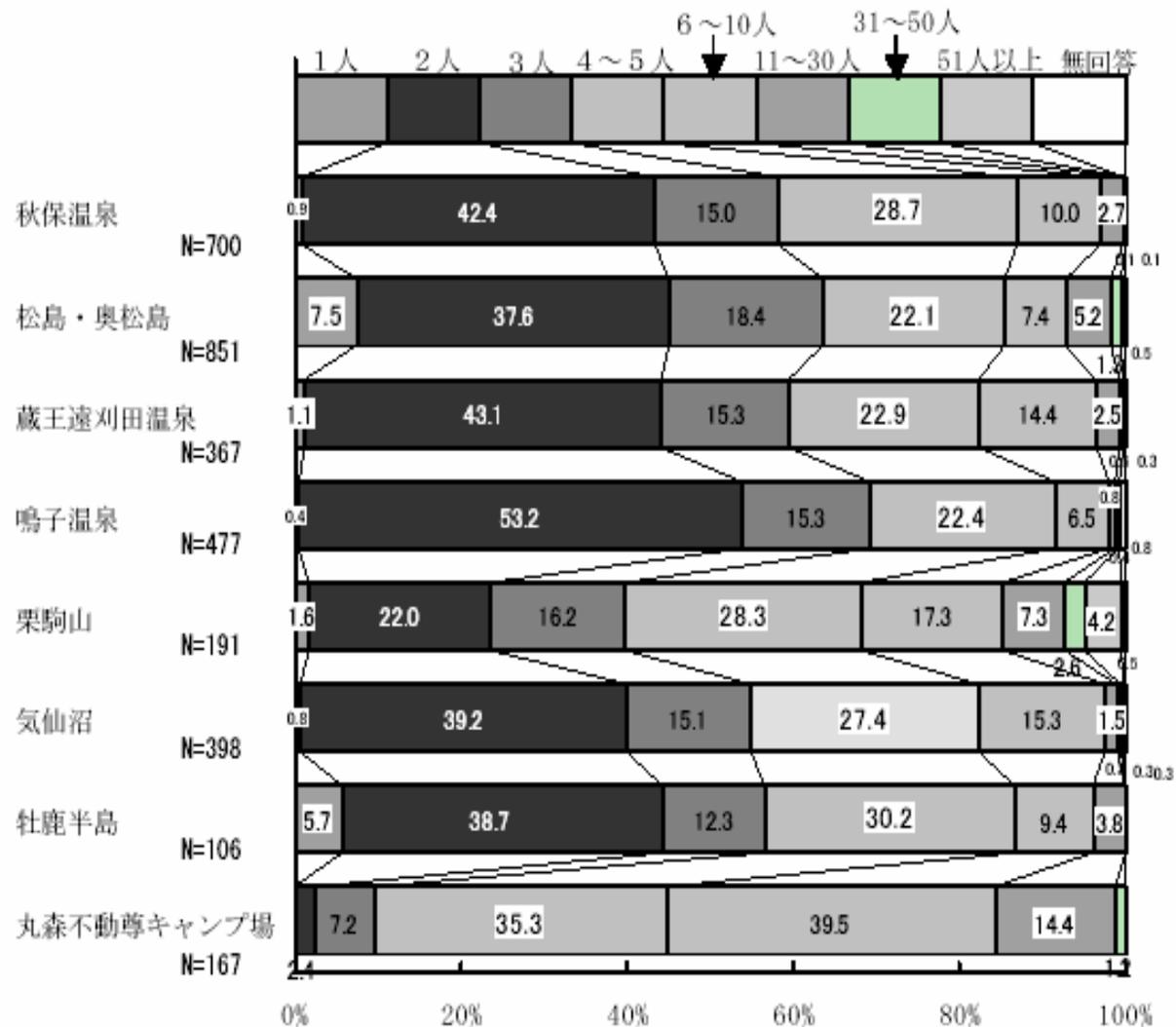
# 1. 鳴子町の観光動態

## 3) 同行人数

同行人数は、全体的にみて「2人」が多い状況にある。

なかでも「鳴子温泉」が最も多く、5割以上が「2人」で来訪している。

6人以上の同行人数について温泉地で比較すると、鳴子温泉は最も少ない結果となった。



出典) 平成15年度宮城県観光実態調査及び経済波及効果調査  
(宮城県産業経済部観光課)

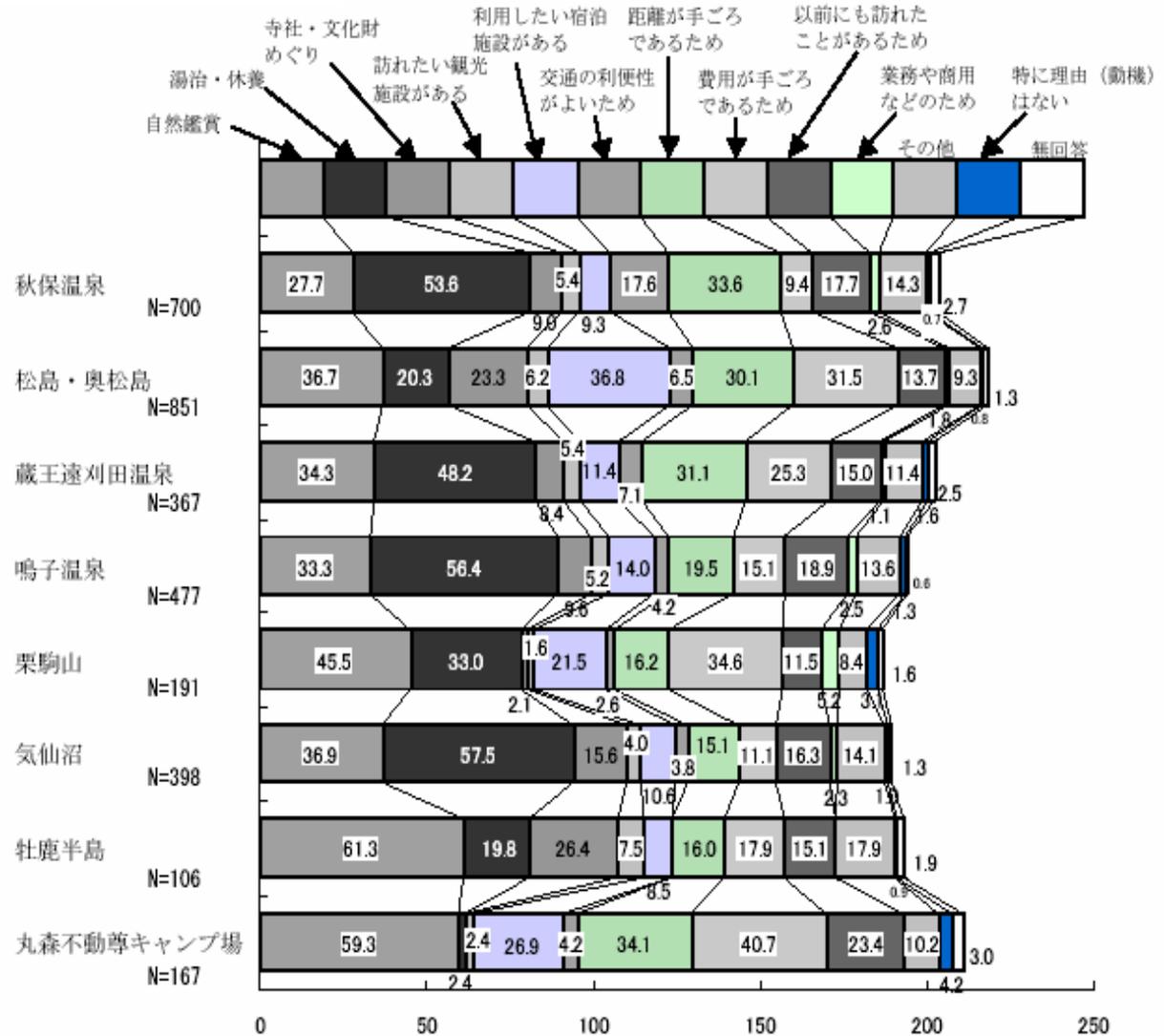
# 1. 鳴子町の観光動態

## 4) 観光目的(複数回答)

観光目的は、全体的に「自然鑑賞」や「湯治・休養」が多く、秋保温泉、蔵王遠刈田温泉、鳴子温泉では「湯治・休養」が約5～6割近くとなった。

鳴子温泉における観光目的で最も多いのは、「湯治・休養」で56.4%である。次いで、「自然鑑賞」23.3%、「距離が手ごろ」19.5%、「以前来たことがあるから」18.9%と続く。

なかでも「以前来たことがあるから」については、他の温泉地と比較すると最も多いことから、再来訪者の多さが伺える。



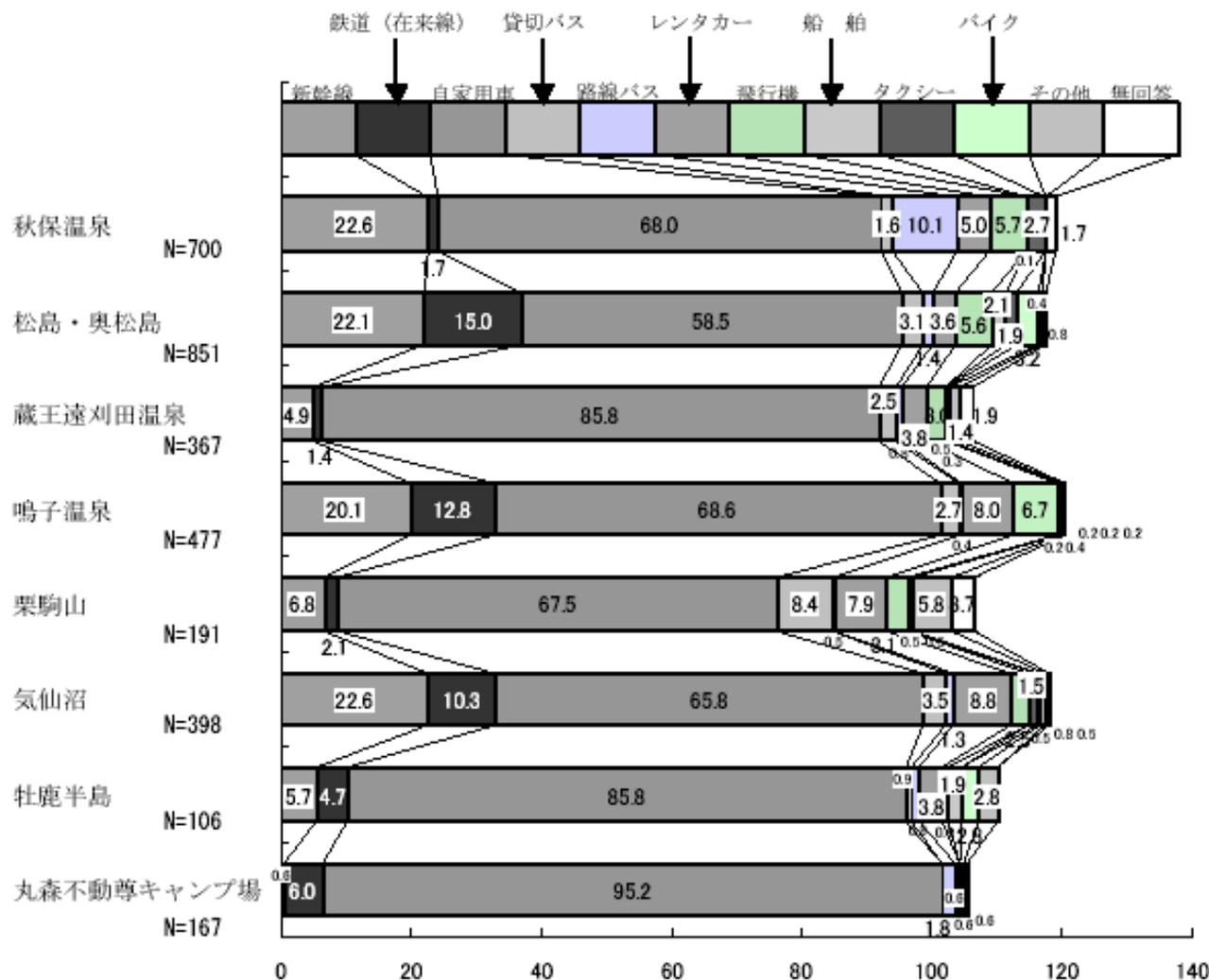
出典)平成15年度宮城県観光実態調査及び経済波及効果調査  
(宮城県産業経済部観光課)

# 1. 鳴子町の観光動態

## 5) 主な交通手段(複数回答)

交通手段をみると、全体的に「自家用車」が半数以上を占める。

鳴子温泉への交通手段で最も多いのは、  
 「自家用車」68.6%、  
 「新幹線」20.1%、  
 「在来線」12.8%の順である。



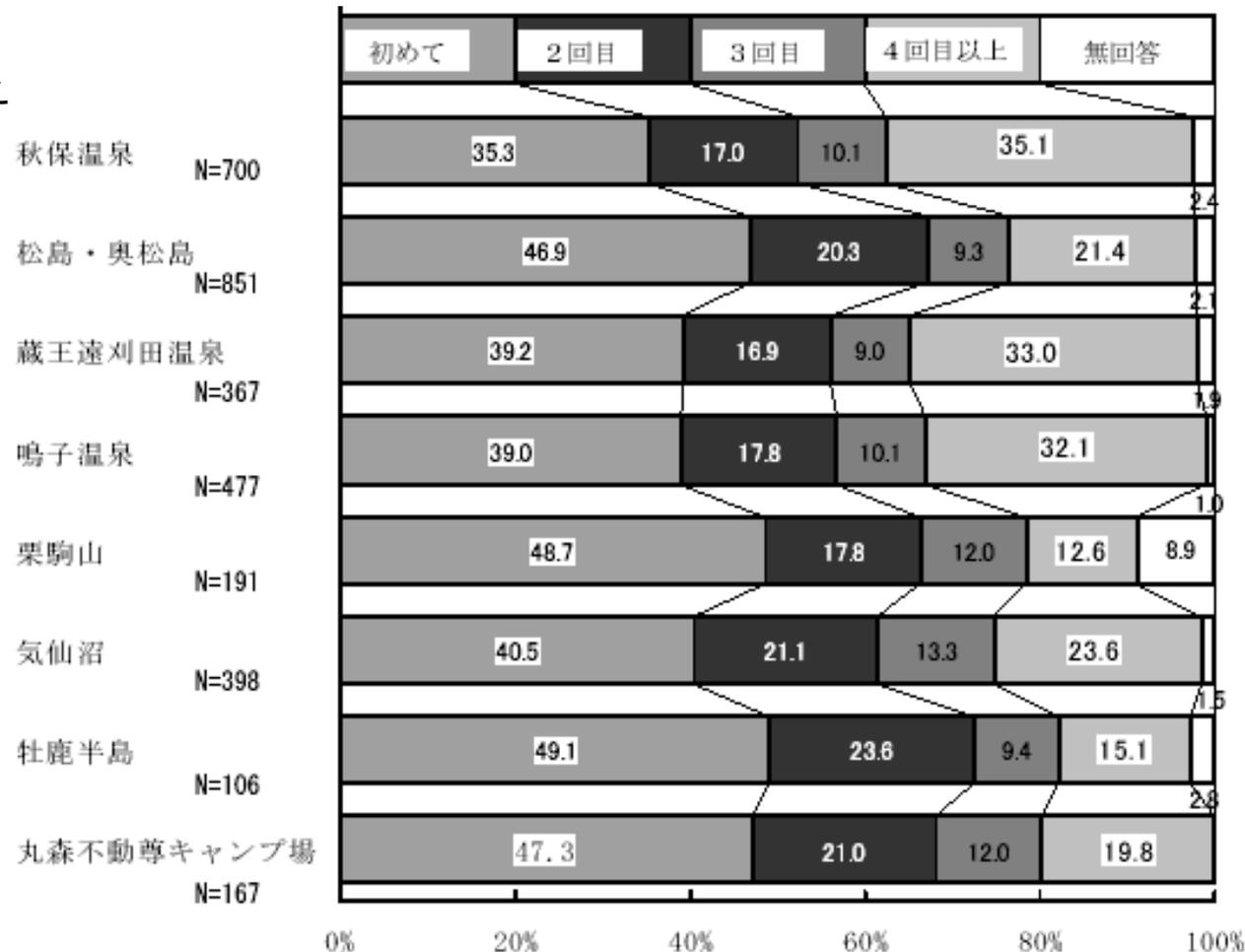
出典) 平成15年度宮城県観光実態調査及び経済波及効果調査  
 (宮城県産業経済部観光課)

# 1. 鳴子町の観光動態

## 6) 再訪回数

再訪回数をみると、全体的に「初めて」が多い。

再訪が「4回目以上」で、3割を超える再訪回数を示すのは、「秋保温泉」、「蔵王遠刈田温泉」、「鳴子温泉」の温泉地である。



出典) 平成15年度宮城県観光実態調査及び経済波及効果調査  
(宮城県産業経済部観光課)

## 2. 鳴子町への来訪者の回遊性

### 1) 宮城県内客の立ち寄り状況

宮城県内からの鳴子温泉宿泊客の立ち寄り先で(「鳴子・鬼首」「その他県内・観光地」除く)、最も多かったのは、「栗駒山」「松島」の順であった。

他の宿泊地で、「鳴子・鬼首」に立ち寄った件数については1～2件と少ないものである。

以上のことから、宮城県内から鳴子温泉を宿泊目的とする場合は、目的地までのルート上での立ち寄りであり、他の観光地での回遊性は低く、「鳴子・鬼首」圏域内での回遊性が高いものと思われる。

【宮城県内宿泊客の立ち寄り状況】

	宿泊地	秋保温泉	松島・奥松島	蔵王遠刈田温泉	鳴子温泉	栗駒山	気仙沼	牡鹿半島	丸森不動尊公園キャンプ場
宮城県内	仙台	11	4	9	1	9	2	2	3
	松島	9	18	7	5	8	3	4	1
	二口・秋保	5	2	2	1	0	1	0	2
	定義・作並	9	1	1	1	0	1	0	0
	蔵王連峰	10	4	13	1	0	0	0	3
	阿武隈	2	0	4	0	0	0	0	3
	鳴子・鬼首	0	1	2	18	1	2	1	0
	栗駒山	0	0	0	7	1	1	0	0
	気仙沼・室根山	0	1	0	3	11	10	0	0
	南三陸	1	1	2	1	10	2	0	0
	牡鹿	0	6	12	4	6	7	3	1
	その他県内	1	0	2	6	1	0	0	2
福島県	湯本・いわき	0	0	0	0	0	0	2	0
	磐梯・吾妻	0	0	1	0	0	0	0	0
	飯坂	0	0	0	0	1	0	0	0
山形県	赤湯・米沢	0	1	0	0	0	0	1	0
	山形・上山	1	0	1	1	0	0	0	0
	天童・山寺	3	0	1	0	0	0	1	0
	出羽三山	0	0	0	0	0	0	0	0
	瀬見・赤倉	0	0	0	3	0	0	0	0
岩手県	平泉	1	1	1	3	2	6	1	0
	花巻温泉郷・遠野	0	0	0	2	0	3	1	0
	陸中海岸	0	1	0	1	1	1	0	0
	盛岡	0	0	0	2	0	0	1	0
秋田県	田沢湖・角館	0	0	0	0	0	0	1	0
	秋田・男鹿半島	0	0	0	0	0	0	0	0
	十和田・八幡平	0	0	0	0	1	0	1	0
青森県	青森・津軽	0	0	0	0	0	0	1	0
	下北半島	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他観光地	11	3	3	6	5	3	4	0
	回答総数	64	44	61	66	57	42	24	15

## 2. 鳴子町への来訪者の回遊性

### 2) 東京圏客の立ち寄り状況

東京圏からの鳴子温泉宿泊客の立ち寄り先で、「鳴子・鬼首」「その他観光地」除く)、最も多かったのは、「仙台」「松島」「天童・山寺」「栗駒山」の順であった。

他の宿泊地で「鳴子・鬼首」に立ち寄ったものでは、「蔵王遠刈田温泉」「松島・奥松島」「気仙沼」が5件以上あった。

以上のことから、東京圏から鳴子温泉を宿泊目的とする場合は、宮城県内をみると、主要観光地である「仙台」「松島・奥松島」への立ち寄りが最も多く、次いで「栗駒山」や「南三陸」といった県北の観光地を中心とした回遊性が伺える。

【東京圏宿泊客の立ち寄り状況】

	宿泊地	秋保温泉	松島・奥松島	蔵王遠刈田温泉	鳴子温泉	栗駒山	気仙沼	牡鹿半島	丸森不動尊公園キャンプ場
宮城県内	仙台	49	44	10	20	3	20	3	2
	松島	52	54	14	17	2	26	9	0
	二口・秋保	9	12	2	0	0	6	0	0
	定義・作並	1	4	0	3	0	4	1	0
	蔵王連峰	15	10	11	2	0	1	1	0
	阿武隈	1	2	4	0	0	0	0	0
	鳴子・鬼首	2	5	7	21	2	5	1	0
	栗駒山	1	0	0	9	1	0	0	0
	気仙沼・室根山	2	6	0	6	5	8	2	0
	南三陸	0	3	2	11	5	1	0	0
	牡鹿	1	7	7	3	0	7	3	0
	その他県内	1	2	2	9	1	0	1	0
	福島県	湯本・いわき	0	1	1	0	1	0	1
磐梯・吾妻		4	13	3	4	0	2	0	0
飯坂		1	4	0	3	1	0	0	0
山形県	赤湯・米沢	1	3	0	0	0	0	0	0
	山形・上山	2	5	3	7	0	0	2	0
	天童・山寺	24	9	5	15	0	2	1	1
	出羽三山	3	2	1	2	0	0	0	0
岩手県	瀬見・赤倉	0	1	1	3	0	0	0	0
	平泉	2	12	3	7	0	24	1	0
	花巻温泉郷・遠野	0	5	1	3	1	3	0	0
	陸中海岸	2	3	1	1	0	7	1	0
秋田県	盛岡	2	2	0	2	0	1	0	0
	田沢湖・角館	2	0	1	1	0	2	2	0
	秋田・男鹿半島	0	0	0	0	1	2	0	0
青森県	十和田・八幡平	3	5	1	1	0	3	0	0
	青森・津軽	1	1	0	1	0	1	0	0
	下北半島	0	0	0	0	0	2	0	0
	その他観光地	26	30	12	30	0	11	2	0
	回答総数	207	245	92	181	23	138	31	3

# 3. 鳴子温泉のポジショニング

## 1. 行ってみたい旅行

JTBが選ぶ「行ってみたい旅行タイプ30」のうち、過去3回の調査でも常に「温泉旅行」がトップとなっている。さらに「グルメ」「周遊観光(自然)」、「周遊観光(歴史・文化)」も常に上位に位置しており「温泉、自然、歴史、文化+グルメ」が、今日のが国の旅行のキーワードとなっている。

## 2. 年代別の行ってみたい旅行

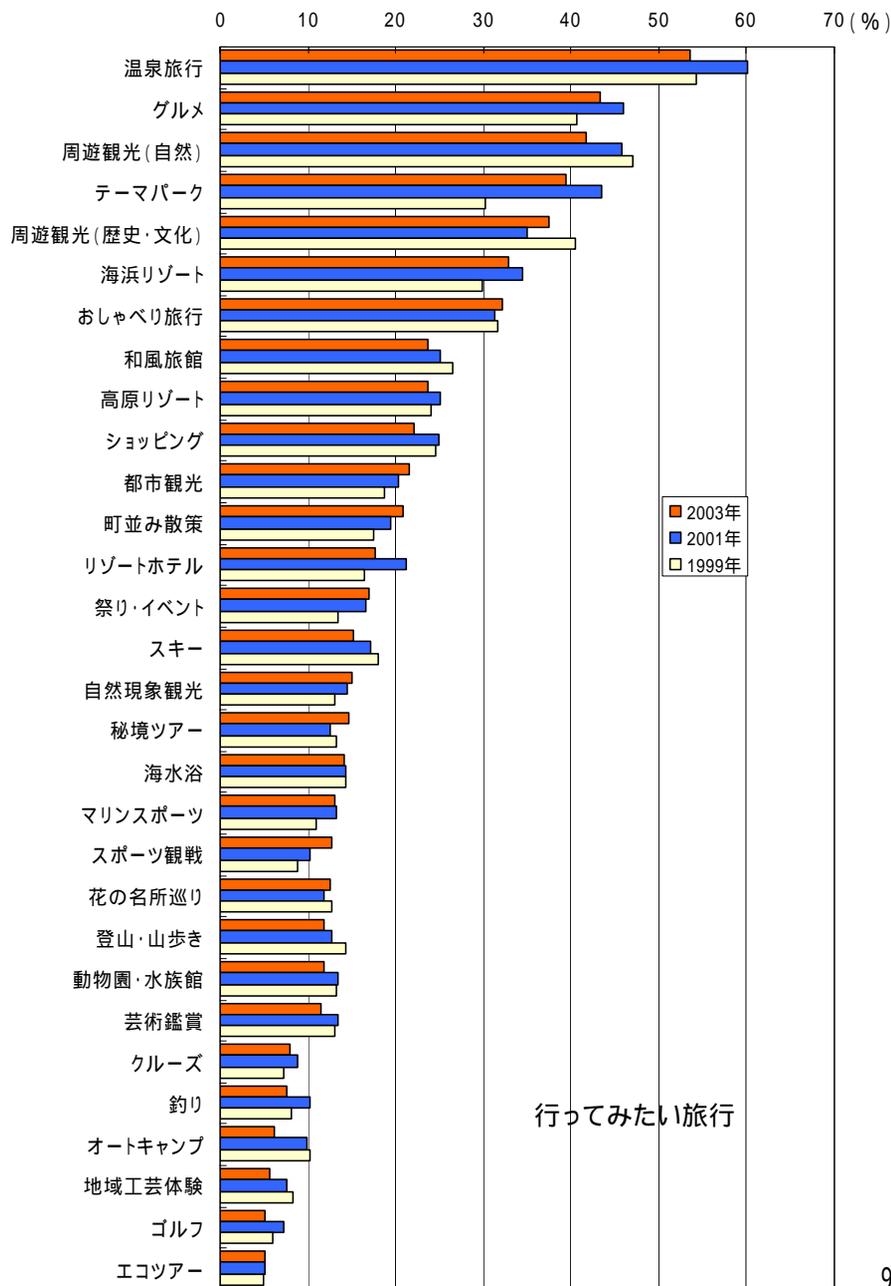
行ってみたい旅行を年代別に見ても温泉旅行は各年代とも上位を示し、40代以上については男女共に第1位が温泉旅行となっている。

また、20代、30代においても温泉旅行に対する意識は高く、30代女性を除いては温泉旅行が第2位となっている。

以上のように温泉旅行に対する揺ぎ無い支持が見て取れる。

年代別の行ってみたい旅行

1位	テーマパーク	51.40%	20代男性	20代女性	67.60%	1位	テーマパーク
2位	温泉旅行	44.60%			60.70%	2位	温泉旅行
3位	グルメ	44.60%			56.70%	3位	グルメ
1位	テーマパーク	53.30%	30代男性	30代女性	72.80%	1位	テーマパーク
2位	温泉旅行	48.90%			58.60%	2位	グルメ
3位	海浜リゾート	46.20%			57.10%	3位	温泉旅行
1位	温泉旅行	51.80%	40代男性	40代女性	54.00%	1位	温泉旅行
2位	周遊観光(自然)	42.90%			50.70%	2位	グルメ
3位	テーマパーク	37.60%			49.60%	3位	テーマパーク
1位	温泉旅行	51.00%	50代男性	50代女性	52.30%	1位	温泉旅行
2位	周遊観光(自然)	35.70%			46.80%	2位	周遊観光(自然)
3位	周遊観光(歴史・文化)	34.70%			44.60%	3位	グルメ
1位	温泉旅行	55.30%	60代男性	60代女性	55.30%	1位	温泉旅行
2位	周遊観光(自然)	47.80%			49.70%	2位	周遊観光(自然)
3位	周遊観光(歴史・文化)	40.70%			42.20%	3位	グルメ



行ってみたい旅行

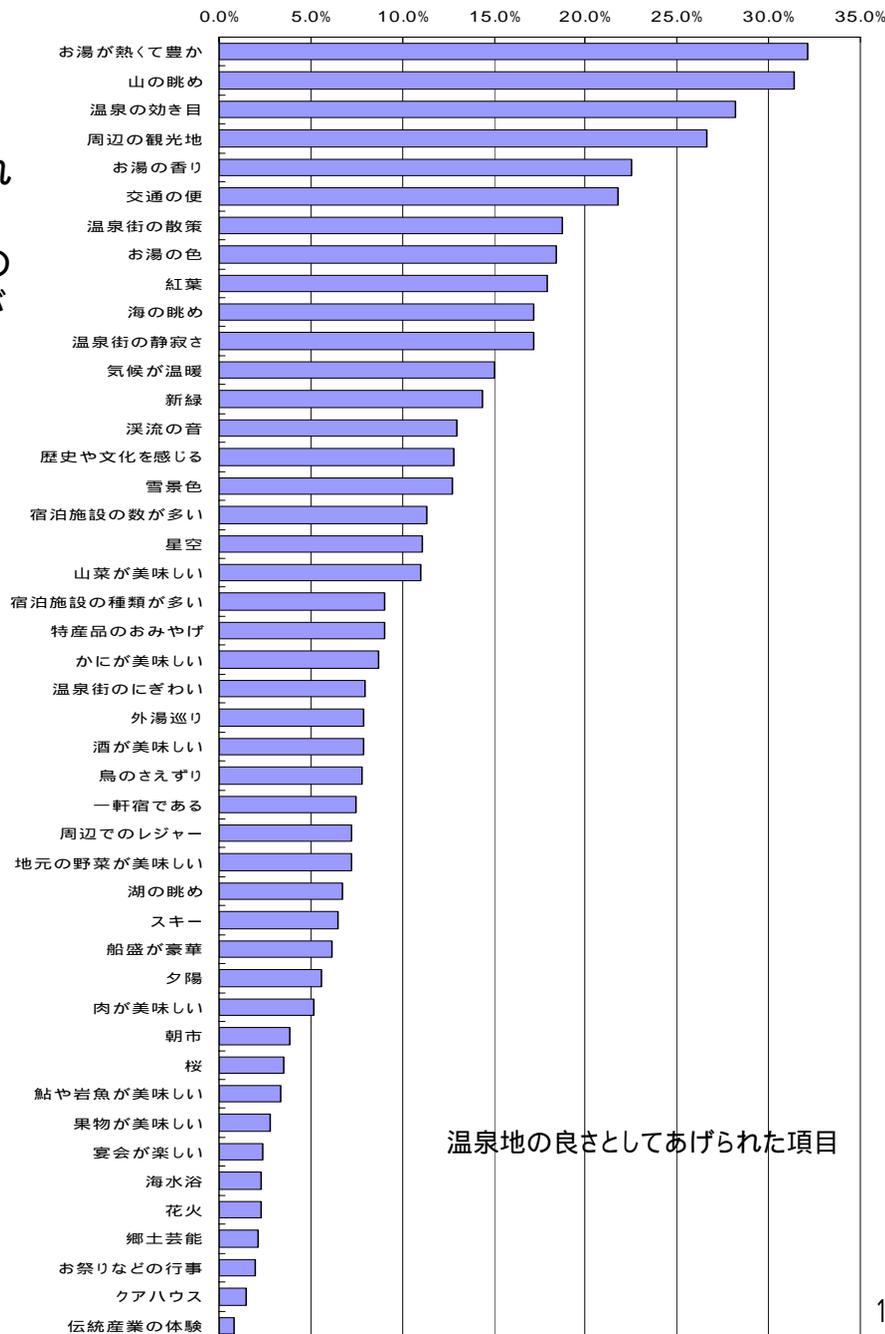
# 3. 鳴子温泉のポジショニング

## 3.温泉地の良さ

JTBが選ぶ「温泉地のよさ45項目」のうち、これまで訪れた「もっとも好きな温泉地」で、どのようなところが良いかを聞いたところ、「お湯が熱くて豊か」「温泉の効き目」「お湯の香り」「お湯の色」など、温泉そのものを評価しているものが多く。

温泉そのもの以外では、「山の眺め」「紅葉」「新緑」「溪流の音」「雪景色」「星空」といった、四季とりどりの温泉地の眺望や豊かな自然環境が高い値を示している。

また、飲食、物販、レクリエーションの項目は、温泉そのものの特徴や眺望などに比べると相対的に低くなっていることがわかる。



### 3. 鳴子温泉のポジショニング

#### 4. 人々が旅先で求める活動

旅先の観光地で体験してみたいことを聞いてみると、男女共に「工芸」や「収穫」「そば打ち」といった順になっている。

また、20代、30代の男性はスポーツ系の体験を志向し、40代、50代の男性は、収穫、漁業などの実益を兼ねた体験を志向している。さらに60代以上の男性は、「漁業」や「山歩き」の順になっている。

女性については、40代以上には収穫と森林歩きへの傾向が強く、年代が高くなるにつれて、周遊観光の自然志向への関心が高まっていることが読み取れる。

人々が旅先で求める活動

体験型観光の種類	内 容	
収穫	果実のもぎ取りや野菜の収穫体験	41.20%
工芸	陶芸や木工などの工芸体験	40.50%
そば打ち	そば打ち体験	31.00%
浜辺での遊び	貝拾いや磯遊びなどの浜辺での遊び体験	30.80%
森林歩き	バードウォッチングや野草、花観察などの森林歩き	27.50%
スカイスports	パラグライダーや気球などのスカイスports体験	26.20%
漁業	地引網引き等の漁業体験	25.80%
山歩き	トレッキングや山歩き体験	25.80%
伝統芸能	祭りや伝統芸能体験	25.50%
料理づくり	地元の料理づくり体験	23.80%
川遊び	川遊び体験	21.90%
酪農	牛の乳搾り等の酪農体験	18.80%
川でのスポーツ	カヌーやラフティングなどの川でのスポーツ体験	17.50%
昔語り	郷土の歴史や文化に詳しい人の昔語りの体験	16.60%
マリンスports	サーフィンやウインドサーフィンなどのマリンスports体験	15.50%
環境教育プログラム	自然観察会や環境教育プログラムへの参加	9.30%
農業	田植え稲刈りなどの農業体験	7.60%
林業	間伐や植樹などの林業体験	4.80%

男女別・年齢別人々が旅先で求める活動

1位 スカイスports	44.50%	20・30代 男性	20・30代 女性	49.30%	1位 工芸
2位 収穫	35.8%			48.90%	2位 収穫
3位 工芸	35.50%			33.10%	3位 スカイスports
1位 漁業	38.30%	40・50代 男性	40・50代 女性	53.30%	1位 工芸
2位 収穫	33.30%			51.90%	2位 収穫
3位 工芸	31.40%			41.50%	3位 森林歩き
1位 漁業	31.00%	60代以上 男性	60代以上 女性	50.60%	1位 収穫
2位 森林歩き	27.00%			45.60%	2位 森林歩き
3位 浜辺での遊び	27.00%			39.00%	3位 工芸
1位 漁業	32.10%	男性	女性	48.40%	1位 収穫
2位 収穫	31.30%			41.90%	2位 工芸
3位 工芸	30.20%			34.40%	3位 浜辺での遊び

## 5. 観光地域に見る来訪意向

「行ってみたい観光地や温泉地等の旅先」の中から、JTBが選ぶ「国内30箇所の観光地」の中に鳴子温泉が含まれている。

鳴子温泉の観光地に対する来訪意向については、60%以上の方が「ぜひ行ってみたい」「行ってみたい」としており、松島海岸、熱海、修善寺などと同程度の値となっている。

また、上位の温泉観光地と比較してみると鳴子温泉は、湯の川、別府、由布院、奥飛騨等の温泉に比べると10ポイントほどの開きが見られる。

調査概要：JTB旅行者動向調査(2003年10月)  
 標本数：2,393票  
 居住地別構成比：北海道4.3%、東北7.3%、関東甲信越37.8%、東海北陸15.5%、近畿16.6%、中国四国8.2%、九州沖縄10.2%  
 男女比：男45%、女55%  
 年齢構成：10代2.0%、20代16.5%、30代21.4%、40代18.7%、50代17.5%、60代17.3%、70代以上6.5%

